

| 実践校に関する事項  |             |                        |
|--|-------------|------------------------|
| 学校区分   | 学校名         | 学校長名                   |
| 小学校  | 串本町立 潮岬小学校  | 羽山 悦雄                  |
| 学校所在地  |             |                        |
| 〒 649 - 3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬3136<br>Tel 0735(62) 0506 fax 0735(62) 0515 e-mail s-misaki@fuga.ocn.ne.jp                       |             |                        |
| 担当者名   |             | 役職名・担当教科               |
| 藤本 真理  |             | 教諭・4年担任                |
| <b>〔学校の概要〕</b><br>潮岬は本州最南端の半島で、海拔33～85mの台地である。<br>台風銀座としても、その名を知られている。<br>青く豊かな海に恵まれ、子どもたちは明るくのびのびと育っている。                  |             |                        |
| 研究実践に関する事項   |             |                        |
| 対象者児童・生徒   | 学習支援者等（延人数） | 主な活動場所                 |
| 学年4年生 24名  | 7名 職員 2名    | 教室・那智勝浦教育センター・大門坂～那智の滝 |
| 実践研究テーマ  |             |                        |
| 自分の思いや考えを持ち、伝え合うことができる子どもの育成～算数科の授業づくりを通して～  |             |                        |
| 実践教科等名   | 単元名         |                        |
| 総合的な学習の時間  | めざせ！和歌山県博士  |                        |
| <b>〔キーワード〕</b> 世界遺産学習・地域学習・情報活用能力  |             |                        |
| <b>〔単元目標〕</b><br>和歌山県についての調べ学習を通して、ふるさとのよさを知る。   |             |                        |
| <b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b><br>全体 5 時間 （「 熊野古道調べ 」 2 時間 ）  |             |                        |
| <b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b><br>1. 和歌山県世界遺産センター・・・世界遺産入門、次世代育成事業（現地学習）<br>2. 熊野古道マスター・・・上野さん、井熊さん<br>3. 熊野古道セラピスト・・・新見さん |             |                        |

| 実践校に関する事項   |   |   |                    |
|---|---|---|--------------------|
| 〔单元指導計画概要〕  |   |   |                    |
|   | 主な学習活動  | 学習への支援  | 評価方法等              |
| 1   | 1. 串本町について知る。<br>2. 町めぐりについて新聞にまとめる。                    | ・串本町についての基礎知識を身につける。<br>・自分の興味・関心があることを見つけ、自己決定する。                      | ・ワークシート<br>・ワークシート |
| 2   | 3. 和歌山県について知る。<br>4. 自分の調べたいテーマを決める。<br>5. 和歌山県について調べる。 | ・和歌山県についての基礎知識を身につける。<br>・目的に応じて、必要な資料を選び、調べる方法を考え出す。<br>・課題に応じた調べ方をする。 | ・ワークシート            |
| 3   | 6. 熊野古道を歩く（大門坂～那智の滝）                                    | ・那智勝浦教育センターを訪ね、世界遺産について学習するとともに、熊野古道を歩く。                                | ・観察<br>・感想文        |
| 4   | 7. 学習したことをまとめる。<br>8. 学習発表会で発表する。                       | ・学習したことや自分の思いが伝わるようにまとめる。<br>・相手を意識して発表する。                              | ・模造紙<br>・観察        |
| 5   | 9. 調べたことをすごろくにまとめる。<br>10. 作ったすごろくで遊ぶ。                  | ・学習したことや自分の思いが伝わるようにまとめる。<br>・学習したことを振り返りながら遊ぶ。                         | ・模造紙（すごろく）<br>・観察  |
| 〔单元学習の成果と課題〕  |   |   |                    |
| <p>&lt;成果&gt;時間を追うごとに、子どもたちの和歌山県に対する興味が高まり、主体的に活動に取り組むことができた。とくに現地学習は世界遺産をより身近なものとし、ふるさとの再発見につながった。</p> <p>また、よりよい作品・発表にしようと、子どもたちは何度も話し合いを重ねた。個人としてだけでなく、集団としての意識も育ってきた。</p> <p>&lt;課題&gt;調べ学習を行うにあたって、子ども向け資料が少なく、資料の読み取り作業が困難だった。また指導者が地域を知り、教材として取り上げていくことが求められる。</p> |   |   |                    |
| 〔世界遺産学習の効果〕   |   |   |                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界遺産」は世界の遠いところの話ではなく、身近にあるものだと感じることができる。</li> <li>・身近にある世界遺産を知ること、守り、伝えていこうという思いを育てることができる。</li> </ul>   |   |   |                    |
| 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕  |   |   |                    |
| <p>世界や日本各地の保護活動を知ること、世界遺産を自分たちがどのように伝えていけばよいか、そのためにはどんな保護が必要なのかなど、地域の将来に目を向けて考えていけると思う。</p>   |   |   |                    |



### 現地学習

熊野古道を初めて歩いてみて、写真を見て想像していたより杉の木がとても大きくて、杉の木を見たことはあるけど、あんなに大きな杉の木は見たことがありませんでした。

それから、熊野古道で私たちが歩いている階段が、水の中にあったそうです。だから、そこに住むエビ達が通った場所が今は化石になっているので、私は化石とかを見るのは初めてで驚きました。那智の滝を見にいったら、高くてすごいなと思いました。



ぼくは熊野古道に行って、歩くと想像以上の長さでした。熊野古道はすごく前につくられたと分かりました。

歩いてみて古くから伝わる道、みんなが思ってきた道だと分かりました。

### 学習発表会



クイズを織り交ぜながら、学習したことを発表しました。

階段が多かったけど、無事みんな那智の滝につき、那智の滝の水を飲んだり、お参りしたりすることができました。この見学で自然にふれた気がしました。

いろんな国から観光客が来ていて、いろんな人達が熊野古道を歩くだなと思いました。これからもみんなで自然を大切にしたいと思いました。



すごろくを作って、すごく楽しかったです。それは、熊野古道のことを知れたからです。

けれど、調べるのが全然進まなくて大変でした。

作り終わって、ほっとしました。

### すごろく

